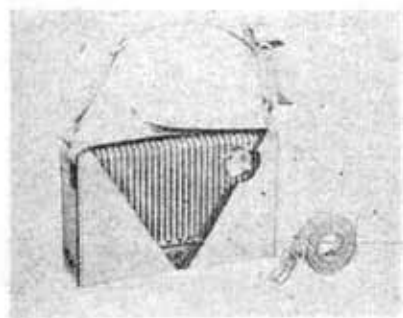


新製品紹介

ラジオ

NECのTRラジオ

NT-7P は AGC つき 7 石スーパー・ヘテロダインで、おもな規格はつぎの通り。実用電界強度：0.2~0.4mV 最大出力：70mW 使用トランジスタ ST-16B, ST-16A×2, ST-3B×4 R ダイオード SD-46, ナーミスタ D-32 スピーカ：2 $\frac{1}{2}$ " パーマネント・ダイナミック 片耳用マグネチック・イヤホン 2 個使用可能 大きさは：145×95×36mm 価格 14,800円



ナショナルの電蓄

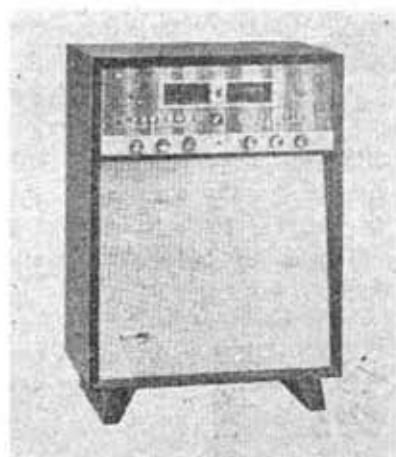
EG-826 は 2 バンド型の 4 スピード・ラジオグラフで、楕円の 2 スピーカ方式を採用している。おもな規格はつぎの通り。使用真空管：12BE6, 12B A6, 30A5, 35W4 スピーカ：6×4" 楕円パーマネント・ダイナミック 2 本 ピック：ターンオーバー型クリスタル WX-31 交換カートリッジ：3C-106 交換針：LS-4 モータ：4 スピード リムドライブ 6H-12 大きさは：460×270×330mm 価格 23,800円



ナショナルのラジオ

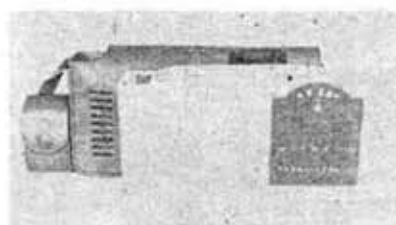
EA-755 は 2 バンド・オールウェーブで、目でみる音量ひびみ計、音質の変化をみるトーン・スコープがついている。出力段は 6BMS のブッシュブルで、スピーカ増設端子、録音端子、イコライザ電源端子、PU 端子がつい

ている。スピーカは 10" ハイファイワイドツェック 10P-W1 価格 43,000円



日立のTRラジオ

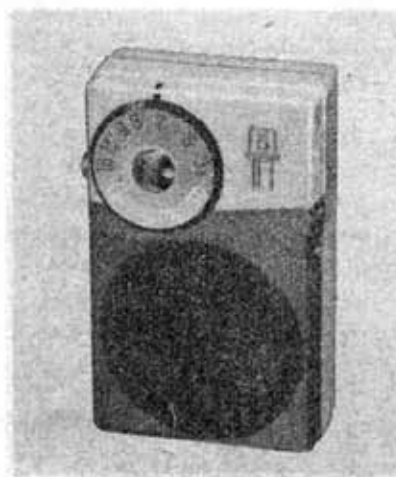
TH-668 型は 6 石スーパー・ヘテロダインで、デッドソールダリングの最新プリント配線。使用トランジスタは HJ23, HJ22×2, HJ15, HJ17×2, IN34A 出力：無重 60mW スピーカ：2.5" パーマネント・ダイナミック アンテナ：フェリスティック・アンテナ自蔵 大きさは：213×100×37mm 重さ：電池とも 800g 価格 12,900円



ミヤマ電器のTRラジオ

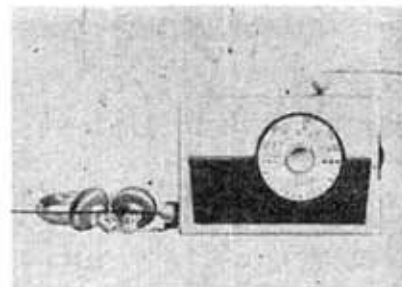
MT-50 はトランジスタ 5 石スーパーで、9V の電源で 2.5" のスピーカが鳴り、型もハンドバッグに入ってしまう小型のもの。遠距離受信もできるように設計されている。価格 9500円

[東京都大田区上池上町56 ミヤマ電器株式会社]



タイヘイのキャビキット

6R-26B は 5~6 球マジック・アイ付きのキャビ・キットで、スピーカは 6.5~8". 写真のつまみは、左からセレクト、ボリューム・コントロール、トーン・スイッチ兼電源スイッチ。大きさは 520×350×213mm。[東京都千代田区神田和泉町1の5 三葉会館内 日本硝子工業株式会社]



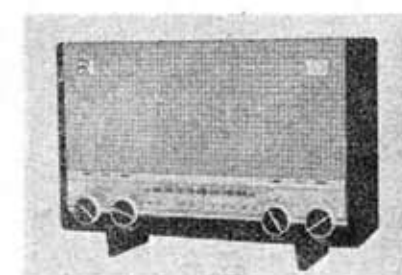
ユニオンのTRラジオ

写真はユニオンから発表された 3 バンド・トランジスタ・ラジオで、A バンド 535~1605kc B バンド 900kc~2.2Mc C バンド 3.5~10Mc 大きさは 117×77×32mm の小型であるが、聴取は標準アンテナを使用しなければならぬため、携帯はできない。



彩新工業のハム用通信型受信機

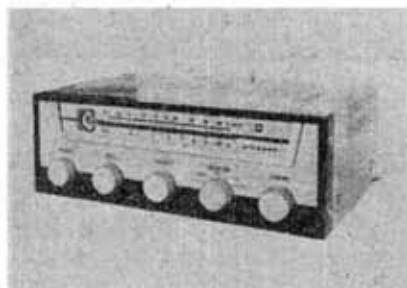
RX-101 は、ハム用またはハム入門用として経済的、合理的に製作したもので、2 級局開設用として好適。受信範囲は A 500kc~9Mc 2 バンド、B 3~18Mc 2 バンド、BFO つきで、A₁ 電波の受信も可能。使用真空管は 6B E6, 6BD6, 6AV6, 6AT6, 6ZP1, 5MK9。完成品のほか、オールキットとして RF 部配線調整済みのものもある。[彩新工業無線部 東京都北多摩郡東村山町久米川127]



アンプ

バイオニアのアンプ

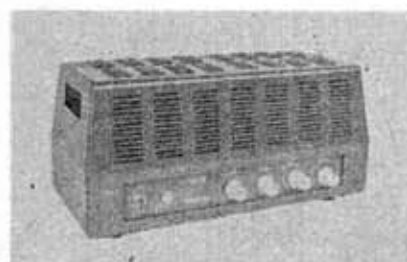
AM-R81 はチューナ、プリアンプ、メインアンプ、電源部がひとつのケースのなかに組込まれているもので、おもな規格はつぎの通り。チューナ部：6BE6, 6BD6, 6AV6, 6E5 プリアンプ部：12AX7, 6AV6×2, メインアンプ部：12AX7, 6AR5×2, 5MK9×2 最大出力：7.5W レスポンス：30~30000% 出力インピーダンス 4, 8, 16Ω 価格 17,400円



シルバーボックスのアンプ

PA-15 はマイクロホン2個とピックアップまたはテープの3つのプログラムがミキシングできる可搬型15Wアンプで、耐久力と単位重量あたりの出力が大きい。移動用に適したスピーカ・インピーダンス切替器と、音質調整器を備えている。価格 23,500円

(東京都荒川区日暮里町6の237 遠藤電機株式会社 (89) 3389)



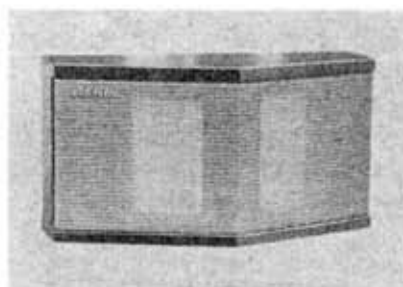
スピーカ

NS スタチック・トゥイータ

TJ-201 は、固定電極板と、きわめて軽量の振動膜とで形成されている。固定電極板には一定の面積を有する多数の孔をあけたものを2箇使用し、各振動膜には 0.1gr. の軽いポリエステルフィルムを用い、入力信号による駆動力が振動膜全面に均等にかかるようになっている。最大許容入力 10W. 再生周波数範囲は 4000~20000%。自蔵のハイパス・ネットワークにより、カットオフ周波数 5000%、オクターブあたり 12dB で減衰する。

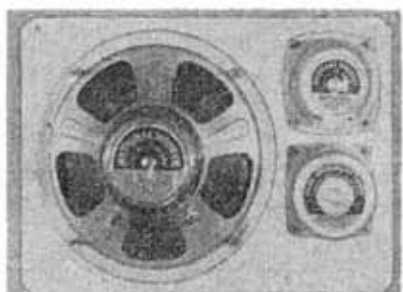
8~12" ウーファに好適。価格 3,800円

(東京都中央区日本橋小網町1の1 名糖商事株式会社 (67) 3101・7971)



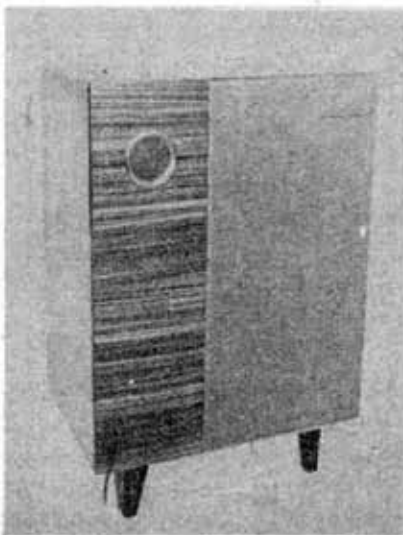
ナショナルのスピーカ・キット

2SP-K1 は2ウェイ・スピーカ・キットで、ウーファには 8" の SP-L5, トゥイータには 2.5" の HT-35 を採用している。ディバイディング・ネットワークは NW-35 である。SP-L5 は、VC インピーダンス：6~8Ω 再生周波数範囲：50~4000% f_0 ：50~70% コーン直径：166mm HT-35 は、再生周波数範囲：3000~16000% コーン直径：57mm 価格 4,100円



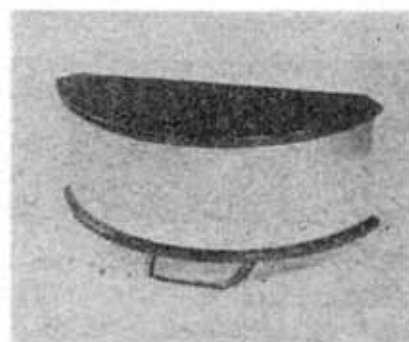
バイオニアのスピーカ・システム

CS-280 は2ウェイ・スピーカ・システムで、規格はつぎの通り。使用スピーカ：低音用 PW-8, 高音用 PT-1C インピーダンス：16Ω 再生帯域：50~16000% 最大許容入力：8W 大きさ：700×500×334mm 容積：79200 cm³ 価格 12,300円



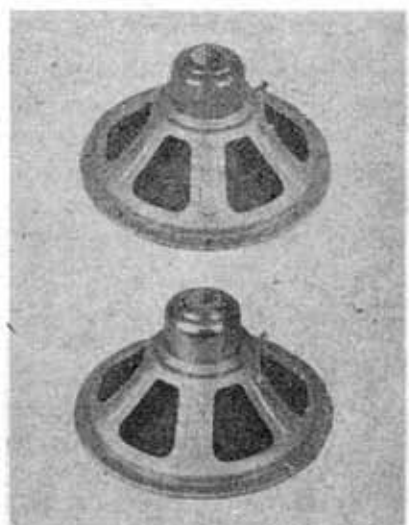
フォスターのトゥイータ

PH-400 は 100 度以上の広い指向性をもち、ホーン型トゥイータに匹敵する過渡特性と周波数特性を持っている。おもな規格はつぎの通り。口径：2.5" 3個 VC インピーダンス 16Ω 再生帯域：3000~16000% 最大入力：20W ネットワークは内臓だが、VC の直接端子もある。



ナショナルのスピーカ

写真はナショナルから発表された EP シリーズの EP-100 と EP-120 である。EP シリーズの特徴は、エンブローズド・ヨークによる漏洩磁束の防止、楕円コルゲーションの採用による周波数特性改善、出力トランス・サポートの付属である。定格はつぎの通り。EP-120, VC インピーダンス：3Ω f_0 ：40~60% 最大直径：305mm コーン有効直径：245mm EP-100, VC インピーダンス：3.5Ω f_0 ：50~80% 最大直径：256mm コーン有効直径：210mm 価格はそれぞれ 3,650円, 2,550円



パーム

ナショナルのボリューム

写真はナショナルから発表されたトランジスタ用超小型ボリュームで、

SNVa-16 (単極単接 S 付) SNVd-16 (3点ショート S 付) NV-16 (S なし) の3種、規格特許はつぎの通り、1) 取付ネジは各端子に対して絶縁さかているため、取付に絶縁板等は不要、2) ツマミが附属しているうえ、ラジオ一本で取はずし可能、全回転角度: 260° 許容電力抵抗体: $\frac{1}{10}$ W スイッチ: 3V DC 6mA, 100VAC 0.2mA 回転寿命: 30000回以上。



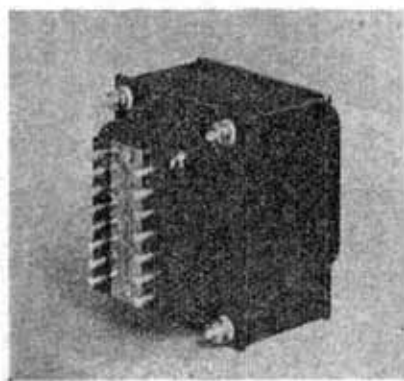
ルチルコンのコンデンサ・キット

写真は太陽誘電から発表されたコンデンサ・キットで、つぎのようなものが詰合せになっている。円筒型 S30R ~ S42R: 0.5, 1, 2, 3, 5, 10, 20, 30, 50, 100, 150, 200, 250, 300, 400, 500pF 各10個。円板型, LD10I 0.001, 0.002 μ F LD16I 0.005 μ F, LD20I 0.001 μ F。卸価格 2,000円



ビゴのパワー・トランス

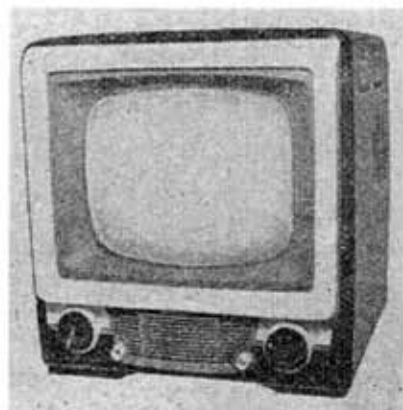
写真はビゴから発表された防湿埃型パワー・トランスで、ラジオ特有の塵埃がつかない。整流管が 5V でも 6.3V でも使用できるレリーズ・タップ式。出力は 330V, 280V \times 2 120mA 5~6.3V 1A 6.3V 2A, 6.3V 2.5A。〔東京都墨田区寺町町 6 の 78 小林電機株式会社〕



テレビ

フルタカのテレビ・キット

8-D 型は、キットとしては初の前面スピーカである。使用スピーカは 6 \times 4" の楕円で、音質をよくするとともに、画と音を完全に調和させている。価格 29,900円〔東京都千代田区神田花房町 5 吉慶無線株式会社〕



スターのテレビ・キット

14T-165 型は、さきに発表した 161 型を改造したもので、おもな規格はつぎの通り。受信範囲: 第 1 ~ 第 14 チャンネル 入力感度: 約 100 μ V 高周波部: ターレット切替カスコード・チューナ 映像 IF 増巾: 4 回路 3 段スタカ増巾 音声検波方式: 不平衡型ラジオ検波 最大音声出力: 1.8W 電源: セレン両波倍電圧整流 B 管: 14RP4A 価格 49,500円〔東京都港区三田 1 の 5 (45) 1515, 株式会社富士製作所〕



ユニバースのテレビ・キット

WCP-310 は 14" 13球 4石 B 管には 14RP4A を使ったテレビ・キットで構成定格はつぎの通り。チューナ: 11チャンネル・カスコード・ダブルコンタクト 中間周波増巾: 映像 IF 2 段 音声 IF 1 段 音声検波: 新ゲートッドビーム方式 受信可能距離: 10kW 局より 200km 以内 音声出力: 1.5W パーツおよび球類は一カ年保証。価格 37,500円〔東京都千代田区神田鍛冶町

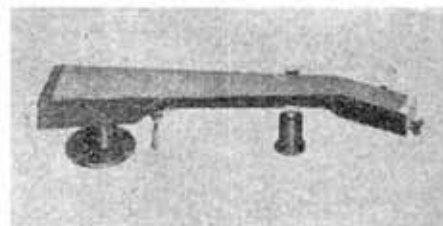
3 の 4 浦川電機工業株式会社



その他

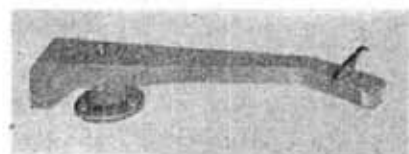
グレースのアーム

G-140 は 16" 型の特長とプロフェッショナル・タイプの特長をそなえた 14" 型アーム。家庭用プレーアにも使用できる大きさで、トラッキング・エラー角は 2° 以内に押えてあり、ワンポイント・サポートのオイルダンプ。最新のカートリッジもと取り付けられるスライド・アダプタが付き。カートリッジの交換時には端子がショートされる。制動油には 50 万単位のシリコン・オイルを使用し、注入後はネジを締めるだけで適当な制動状態となる。価格 5,800円



アイワのピックアップ

C-406 の規格はつぎの通り。型式: ターンオーバー式クリスタル型ダイキャスト・アーム 周波数範囲: 30~14000% 出力: SP 2.4V 175mm/sec LP 1.0V/29mm/sec (1000%) 針圧: 8g (4~15g 調整つき) トラッキング・エラー \pm 3° 以内 使用針先: LP 0.001" SP 0.0025"。価格 3,000円

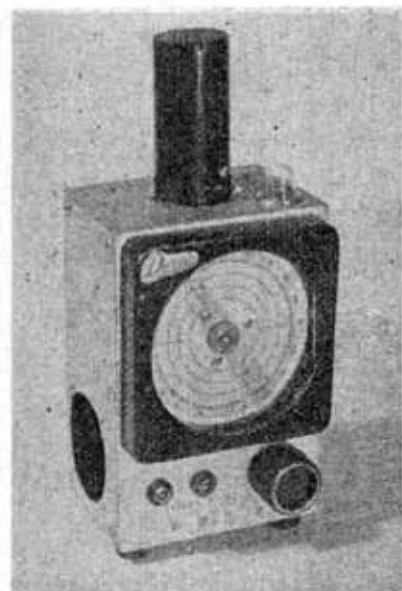


彩新工業の吸収型周波計

F-102 は吸収型周波計で、測定範囲は 1500kc~60Mc のプラグイン式 4 バンド、2 重ボビンを採用し、コイルが露出しないように保護してあるので、

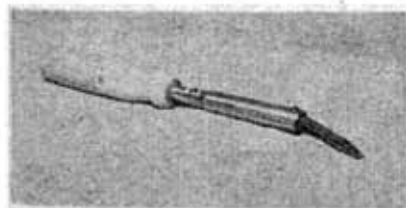
ソニーのパワー・トランジスタ 2T501

取扱いによるコイルのゆるみやずれがなく、したがってインダクタンスの変化がない。価格 2,400円 [東京都北多摩郡東村山町久米川 127 彩新工業無線部]



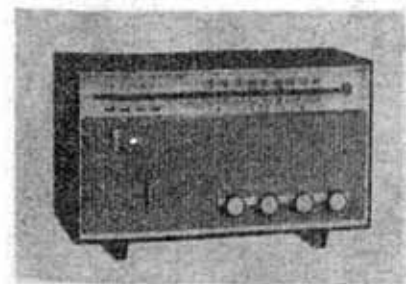
新東亜通商のコメット半田鍍

写真は新東亜通商から発表された半田鍍で、従来の半田鍍の欠点をおぎなう特殊設計のヒータを使用しているため、消費電力を少なくしても鍍先が短時間で加熱され、断線はほとんどない。鍍先は3種類用意され、ワット類も 25W から 80W まで数種ある。
[東京都千代田区九段2の1]



ナショナルの AM-FM ラジオ

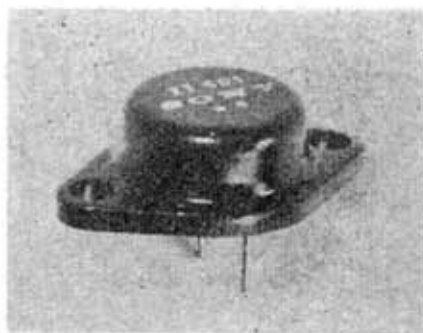
EA-765 は AM-FM ラジオで、受信周波数帯は、MW 535~1605kc SW 3.9~12Mc FM 80~90Mc となっている。使用真空管：6AQ8/ECC85, 6AJ8/ECH81, 6DC8/EBF89, 6AL5, 6BQ5, 6CA4。スピーカ：低音 8" 高音 2.5" P.P. 出力：3W 大きき：580×370×240mm。



今回東通工から発表されたソニーの 2T501 パワー・トランジスタは NPN のアロイ型であるから、NPN のトランジスタを使ったラジオや増幅器の出力用に特に適当しているが、そのほか大電力のスイッチング、DC-DC コンバータ、パワー・レギュレータ等、すこぶる広範な用途も考えられる。

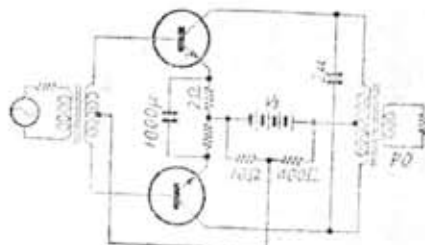
低周波の出力段に A 級シングルで使えば、2W の無歪出力が得られるが、その場合は 1.6mm 厚、20cm 平方のアルミニウム板の中央に取りつけて放熱をはからなければならない。この場合のドライバーは 2T65 が適当で、段間の結合トランスは 1 次側 5k Ω 、2 次側 100 Ω 程度でよい。出力トランスの 1 次側は応用例の負荷抵抗どおり 30 Ω に選び、2 次側は使用 SP のボイスコイルのインピーダンスに合わせる。

B 級プッシュプル増幅は、特性の揃ったトランジスタが 2 個必要である



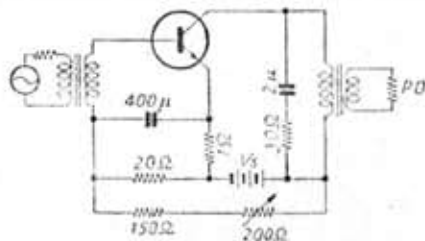
B 級 P.P. 増幅

コレクタ供給電圧	Vs	12 Vdc
コレクタ電流 (Po=5W)	Ic	0.5 A
入力抵抗 (B-B 間)	Ri	200 Ω
負荷抵抗 (C-C 間)	RL	25 Ω
無信号時 エミッタ電流	Ie	20 mA
出力	Po	5 W
電力利得	PG	18 dB
歪率	KF	7 %



A 級シングル増幅

コレクタ供給電圧	Vs	14 Vdc
コレクタ電流	Ic	0.4 A
負荷抵抗	RL	30 Ω
電源インピーダンス	rg	10 Ω
出力	Po	2 W
電力利得	PG	30 dB
歪率	KF	5 %
使用温度	Ta	50°C max 標準放熱板が必要



が、そのかわり効率がよく、重もまたすくない。応用例の出力が A 級にくらべ割合にすくないのは、放熱板をつけない状態での特性だからで、A 級の場合と同様に放熱板をつければ、さらに大きな出力を取り出すことができる。

B 級プッシュプルのドライバには、A 級シングルの 2T501 が適当している。

従来の真空管を使った自動車ラジオ、あるいは宣伝用の増幅器では、高圧電源を得るためにバイブレータや

ロータリー・コンバータ等を使わなければならなかったが、この 2T501 を 4 個パラレルプッシュプルに接合すれば、12V の蓄電池だけで 10W の出力が得られるから、これらの用途にパワー・トランジスタが急速に進出することが予想される。

